令和6年度 第10回
日野市教育委員会定例会議事録要旨

令和7年（2025年）1月9日

日野市教育委員会

令和6年度第10回日野市教育委員会定例会

開催日時 令和7年(2025年)1月9日(木)
14時00分～14時42分

開催場所 506会議室

出席委員 教 育 長 堀川 拓郎 教育長職務代理者 高木 健夫
委 員 真野 広 委 員 正留 久巳
委 員 岩下 優美子

議事録署名委員 委 員 岩下 優美子

事務局出席者 教 育 部 長 中田 秀幸 教育部参事 長崎 将幸
(兼教育指導課長)
教育部参事 田中 洋平 庶務課長 釜堀 亜矢子
教育指導課主幹 坪田 充博 統括指導主事 前田 健太
生涯学習課長 須崎 晃俊 中央公民館長 大村 国博

傍聴者 1名

書記 庶務課庶務係長 岸本 洋輔
庶務課主事 金澤 仁

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名

教 育 長

堀川 拓郎

議事録署名

委 員

岩下 優美子

議事内容

議案

- 第 4 2 号 教育委員会職員人事の専決処分について
- 第 4 3 号 教育委員会職員の分限休職の専決処分について

協議事項

- 第 2 号 日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画素案について
- 第 3 号 コミュニティ・スクール推進に関する基本方針素案について

請願審査

- 第 6-11 号 横山洋吉元都教育長や北村比左嘉被告（元校長）が、学校生活（いわゆる儀式的行事を含む）において「怖いと感じた」と生徒に証言させてしまった、非違行為の具体的内容を本市の教職員に周知頂きたい等の請願 ～生徒の人権を守るためにも

報告事項

- 第 2 5 号 令和 6 年第 4 回日野市議会定例会の報告
- 第 2 6 号 行政情報の公開請求

(議事の要旨)

開始 14時00分

[堀川教育長]

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第10回教育委員会定例会を開会いたします。

本日は傍聴を許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

本日の議事録署名は岩下委員にお願いをいたします。

本日の案件は議案2件、協議事項2件、請願審査1件、報告事項2件です。

会議の進め方ですが、請願第6-11号は議事の最後に審査をしたいと思います。また、議案第42号及び議案第43号は公開しない会議とし、請願審査の後に審議をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[堀川教育長]

異議なしと認め、請願第6-11号の審査は公開する議事の最後に行います。また、会議規則第10条により、議案第42号及び議案第43号は公開しない会議とし、請願審査の後に審議をいたします。

それでは、議事に入ります。

協議事項第2号・日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画素案について、事務局より説明をお願いします。

庶務課長。

○協議事項第2号 日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画素案について

[釜堀庶務課長]

庶務課長でございます。議案書5ページをお開きください。協議事項第2号・日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画素案について協議をお願いするものでございます。

恐れ入ります。別紙の推進計画素案をお開きください。本計画は、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化、学習指導要領の改訂等を背景として、子供たちに充実した教育環境を整え、新しい時代に求められる学習空間を実現することを目的としております。併せて、地域が求める公共施設としての学校施設の整備の在り方についても整理することとしております。また、本計画は、上位計画である第4次日野市学校教育基本構想などの理念の実現に向け、日野市のこれからの学校の在り方や整備の進め方を示した学校整備基本構想、基本構想の内容を具体的に施設の規模や諸室の構成などに表現し、教室等の整備における標準仕様を設定する学校諸機能整備計画、老朽化が進む学校施設の計画的な整備を図るとともに、基本構想や整備計画の内容を実現するための計画である個別施設計画の3つの要

素で構成されております。

計画の策定に当たっては、学識経験者、学校関係団体の方、公募市民、市職員などで構成する検討委員会を立ち上げ、協議や検討を行ってまいりました。また、策定プロセスの中ではフィールドワークを多く実施し、様々な意見を取り入れてまいりました。ここで計画の素案がまとまったことを受け、内容について協議をお願いするものでございます。

なお、この後のスケジュールですが、本日の御意見などを踏まえ、1月中旬からパブリックコメントを実施する予定でございます。また、この先いただいた御意見を集約しながら、令和6年度中の計画決定に向け進めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。御協議のほどよろしくお願い申し上げます。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

高木委員。

[高木委員]

この推進計画素案におけます空間面積等の検証状況についてお尋ねしたいと思います。財政面で具体的な施策について丁寧な検証がされており、実行可能な計画との印象を受けております。気になるのが、推進計画の基準に基づく計画床面積などについては、現行水準を大きく上回るものと考えます。現時点での土地の用途基準から来る容積率などを踏まえて、推進計画の実現性について十分な検証はされていると考えてよいのか。また、公共施設面積の縮減目標、16%がありますけれども、この目標との関係について検証はされているのか。それとも、今後の具体的な計画の実施段階での設計検証となるのか、説明をお願いしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

[堀川教育長]

庶務課長。

[釜堀庶務課長]

用途基準ですとか容積率等の法適合については、本計画では検証しておりません。各校の具体的な設計の段階で検討することとしたいと考えております。

以上でございます。

[堀川教育長]

ほかに御質問はございませんか。

岩下委員。

[岩下委員]

こちらの計画ですけれども、大きく何年の計画になりますか。

[堀川教育長]

庶務課長。

[釜堀庶務課長]

本計画の計画期間は40年としてございます。40年で全校一通りの整備を終えるような形で計画を立てているものでございます。

以上でございます。

[堀川教育長]

ほかに御質問ございませんか。引き続きお願いします。

[岩下委員]

引き続き、中間見直し等の目標年限はありますか。

[堀川教育長]

庶務課長。

[釜堀庶務課長]

本計画は40年を、短期の15年、中期の15年、長期の10年という3つの期間に区切って計画を検討しているものでございます。その3つの期間に応じて見直し等をしていく、また併せて、その時々が必要に応じてPDCAも行ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

[岩下委員]

ありがとうございました。

[堀川教育長]

ほかに御質問ございますでしょうか。

それでは、私から2点質問させていただければと思います。まず1点目です。66ページに、「社会教育施設との連携」ということで、(仮称)地域の学び舎として機能を求めるという記載がありますがけれども、(仮称)地域の学び舎というのは各校に1つつくっていくという趣旨なのかということについてお尋ねをしたいと思います。

2点目、今、議題となっているこの推進計画と並行して、日野本町地区の再編の検討が行われていると思いますけれども、そちらの本町地区の検討とこちらの推進計画との関係について確認をしたいと思います。

庶務課長。

[釜堀庶務課長]

まず、地域の学び舎の考え方でございます。市内の各学校によりまして周辺の公共施設の状況等にも差がございますので、各学校、各公共施設のニーズに応じて、整備の際に地域の学び舎の設置については個別に判断をしていきたいと考えております。

また、日野本町再編との関連ですけれども、小中学校としましては、日野本町に日野第一小学校が属することになっております。お互いの情報を交換しながら連携して進めていくというふうに考えてございます。

以上でございます。

[堀川教育長]

ありがとうございます。そうしましたら、御意見がございましたらお願いをいたします。

真野委員、お願いします。

[真野委員]

私からは、この素案を読ませていただいて、評価できる点を3点ほど挙げて意見に代えたいと思います。

1点目は、先ほども説明がありましたが、学識経験者、学校施設、社会施設を利用する関連団体の代表、公募による市民、行政部門関係者等、多様な方に参画をいただいて検討委員会を立ち上げるとともに、教員へのアンケート、ワークショップ、子供たちや高校生

も巻き込んで、多様な意見を集約している点は大いに評価できる内容だと思います。

2点目なのですが、検討に当たっては、論点を2つの柱と10の論点に集約するとともに、その10の論点を第4次学校教育基本構想の8プラスのプロジェクトとも関連をつけて検討を進めている点です。この点では、ページで言いますと39ページ、図25にその関連が示されているわけなのですが、この中で論点の1つに、快適性向上と環境負荷軽減を両立した施設の導入、こういう論点がありますが、こちらが8プラスのプロジェクトとの関連づけはされていなくて、そういう面では、教職員の環境を改善していく、そういう視点もこの論点には含まれていますので、例えば学校を支えるこのプロジェクトとも関連づけできるのではないかと思いますので、その点の確認をお願いしたいと思います。

3点目ですが、教員のアンケート、それから検討委員会からいただいた貴重な御意見などを漏れなく活かそうという趣旨で随所に載せてあるわけなので、これは今後もこの構想を進めていく上で、貴重な意見として有効に活用できるのではないかと思います。

私からは以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見ございませんか。

高木委員、お願いします。

[高木委員]

提起いただきました日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画素案について、賛成の立場で意見を述べさせていただきます。本推進計画は、検討委員会での論議を重ねるなど、大変丁寧に検討、作成された基本的な大変長期の推進計画と理解しており、今後の展開を大いに期待しているところであります。推進計画の具体的な実施時期や内容については、各学校関係者との意見交換などを行い、意向を十分に把握しながら進めていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

[堀川教育長]

ほかに御意見ございませんか。

正留委員。

[正留委員]

意見です。本推進計画素案については、子供たちの教育や日野市の社会教育の充実に向けて、様々な視点で計画を立て、見通しを持ったもので、適切であると思います。当然ながら様々な変化によって変更もあるでしょうが、この推進計画の中に示してある方向性や目的を大切にしながら進めていくことが肝要だと思います。よろしくお願ひいたします。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見ございませんか。

岩下委員。

[岩下委員]

新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画について、賛成の立場で意見を申し上げたいと思っております。全ての学校施設を全部改築、一部改築、長寿命化等に振り分け、分析していただいております。大変長期にわたる計画であり、生徒児童数の変動、クラス編成

の変更、あるいは学校での学び方の変容など、様々な前提としているものの想定を超える場合、また、技術的進歩なども踏まえ、今回の計画策定に当たり、様々な当事者の声を反映したように、今後も都度見直しをしつつ進めていただきたいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見ございませんか。

それでは、私からも一言意見を申し上げます。この推進計画に関しましては昨年度から委員会で議論を始めていただいて、8回の委員会と14回のワーキングチームということで、計22回有識者等の方々に集まっていただいて御議論をいただいて、素案が出来上がったということでございます。また、この計画は委員の議論だけではなくて、小学生、中学生、高校生、そして社会教育施設の利用者の方々、そういった当事者の方々とワークショップを開催して、子供、当事者の声を聞きながら計画を練り上げてきたという、そのプロセスにも特徴があるのかと思います。これは真野委員からも御指摘がございました。

今後40年の学校づくり・社会教育施設づくりに向けた土台となる計画の今回の素案ということで、協議事項ということで議論をいただきました。次回、議案として御審議をいただくことになるのかと思っております。今日いただいた御議論を踏まえて、修正等を検討して、次回定例会に向けてブラッシュアップをしていきたいと思っております。

以上です。

ほかに御質問、御意見ございませんでしょうか。なければ、協議事項第2号を終了いたします。

協議事項第3号・コミュニティ・スクール推進に関する基本方針素案について、事務局より御説明をお願いします。

生涯学習課長。

○協議事項第3号 コミュニティ・スクール推進に関する基本方針素案について

[須崎生涯学習課長]

生涯学習課長でございます。議案書7ページにありますコミュニティ・スクール推進に関する基本方針素案について協議をお願いするものです。

別紙協議事項第3号・日野市におけるコミュニティ・スクール推進に関する基本方針案について御覧いただけたらと思います。副題としまして、「日野市立小・中学校におけるコミュニティ・スクール制度及び地域学校協働活動制度の導入・運用に関する手引き」といたしました。コミュニティ・スクール制度については、学校教育と社会教育が連携する事業です。学校教育側の学校運営協議会については、現在市内では小学校8校に設置されています。一方、社会教育側の地域学校協働活動については、小学校全校で展開しているところです。日野市教育委員会では、第4次学校教育基本構想において、このコミュニティ・スクール制度を令和11年度までに全小中学校に導入することを目指しております。

そこで、学校、家庭、地域など、各当事者がコミュニティ・スクールに関する基本的な考え方、運用上の留意点や制度の基本知識を共有するため、本基本方針案を作成すること

といたしました。なお、基本方針の作成に当たっては、校長会をはじめとした学校関係者、既に設置されている学校運営協議会の委員や地域コーディネーターの方など、地域の方、PTAなど保護者の方にも御意見を伺い、反映させています。本基本方針案は今回の定例会において協議をいただき、2月の定例会において議案として策定していただければ、令和7年度からの運用を図っていきます。また、実績を積み重ねながら、都度、基本方針の見直しも行っていく予定です。

それでは、基本方針の内容について御説明いたします。特徴は大きく2点あります。

1点目、本文5ページにあります。日野市におけるコミュニティ・スクール制度を「学校経営方針に基づき、学校・家庭・地域が協働してより良い学校をつくっていく仕組み」と定義しています。コミュニティ・スクール制度は学校経営の改革ですが、校長が作成する学校経営方針を軸あるいは柱として、地域の学校経営への関わりを定義し、様々な当事者の方の承認を得た学校経営方針により、よりよい学校のために協働する制度としています。

2点目、本文6ページになりますが、学校運営協議会と地域学校協働本部を一体として「コミュニティ・スクール委員会」と称し、それぞれの機能や役割を包括的に兼ねて、効率的に実効性のある活動を実施しようというものです。学校運営における課題の把握や共有、支援活動の検討や人材調整、そして多様な活動の展開など、既に実態としてそのようになっているかもしれませんが、それを仕組みとして明確にしたものです。そのほか詳細については、基本方針を御覧いただければと思います。

説明は以上となります。よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。まず、御質問から伺います。

岩下委員。

[岩下委員]

学校によって活動頻度や活動内容は異なると想定しますが、報酬について、月額ではなく、年間を通しての活動ということで年額という考え方はありますか。

[須崎生涯学習課長]

今現状、月額1,500円となっております。方針案でいう18ページになります。各市の状況も踏まえながら、今後、その点についてはいろいろ検討していきたいと思っております。

以上です。

[岩下委員]

ありがとうございます。

[堀川教育長]

ほかに御質問ございますでしょうか。

それでは、御意見ございましたらお願いいたします。

高木委員。

[高木委員]

提起いただきましたコミュニティ・スクール推進に関する基本方針案について、賛成の立場で意見を述べさせていただきます。基本方針作成の背景として、コミュニティ・スクール制度の導入、拡大を見据え、各当事者が認識を合わせ、制度の本旨に沿って、よりよい学校づくりに向かっていけるよう、市として統一的な方針を示すこととしたとあり、大変重要、大事なことと感じております。

また、市教育委員会として連絡会や研修会等を開催し、活動の支援をしていくことも示されており、期待しているところであります。基本方針について、各学校関係者や保護者、地域の方々と引き続き意見交換などを行いながら進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

真野委員。

[真野委員]

私もこの方針案を読ませていただきまして、意見ですが、述べたいと思います。第4次学校教育基本構想のテーマであります「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」、この力を育てていくためには、学校、家庭、地域、行政の一層の連携が必要となります。その意味でも、コミュニティ・スクールの考え方やその目指す方向、ありたい姿などを共有し、地域の人材を発掘し、その考え方に共鳴する人を一人でも多くつくり、育てていくことは大切なことではないかと思えます。

この基本方針案はその共通軸となるものであって、既にこの制度を導入している学校の知見、経験なども盛り込んで作成しており、大変有用な基本方針案になっていると思えます。また、行政が取り組むプロジェクトの中で、このコミュニティ・スクール制度を令和11年度初めまでに全市立小中学校へ導入することを目指すとしているわけですが、導入に当たりましては、地域ごとに進み具合が違うとか、課題も様々異なるかと思えますので、ぜひ丁寧に進めていただければと思います。

私からは以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

正留委員。

[正留委員]

本基本方針素案について、賛成の立場から意見を申し上げたいと思います。第4次日野市学校教育基本構想の具現化にとって、コミュニティ・スクールの実現、充実が必要であるものです。本推進計画素案は、基本的な考え方がよく示してあると思えます。これを丁寧に説明し、周知を進めることが大変大事になってくると思えます。今後、様々な課題が出てきたら柔軟な対応をし、一層の充実に努められるような計画としていただきたいと思います。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

岩下委員。

[岩下委員]

コミュニティ・スクール推進計画につきまして、賛成の立場で意見を申し上げたいと思います。本計画ですが、既にコミュニティ・スクールを導入し実施している学校、これから着手する学校、様々ある中で、基本方針として整理したものをお示しできることは皆さんの理解につながるものと思います。その上で、コミュニティ・スクールに求められているもの、第4次学校教育基本構想の中で、学校とともに、地域とともに、保護者とともに、子供たちのためにというところの具現化をするためには大変よりどころとなるものだと思います。その中で、地域コーディネーターの役割についても説明していただいて、大変分かりやすくまとめられているんですけども、コミュニティ・スクールと地域コーディネーターの事業は別であるので、そこが分かりやすくまとめられると大変助かると思います。どうぞよろしく願いいたします。

[堀川教育長]

ほかに御意見ございませんか。

それでは、私からも一言意見を申し上げます。まず、質疑にもありましたけれども、学校運営協議会の委員の報酬の水準や、月額や年額とするか等については、他市の状況なども踏まえながら今後の検討が必要かと思えます。その上で、まずこの方針の背景ですけども、本文にも記載されているとおり、昨年3月に4次構想が策定されて、その中にスクール・コミュニティプロジェクトが大きく掲げられています。その一環として、コミュニティ・スクールの推進ということがうたわれているところであります。

コミュニティ・スクールについては、平成20年から平山小学校、平成21年に東光寺小学校ということで2校が先行してスタートをして、しばらく間が空いて、また、ここ数年でコミュニティ・スクールが増えてきているという状況にあります。ただ、コミュニティ・スクールとしての実態は学校によってかなり違ってきているところがあるのかなと思います。さきに申し上げた4次構想に基づき、より一層推進していく上で、統一した考え方を方針として示す必要があると。その案が、今日御議論いただいた案になっております。これを土台として、関係者が同じ方向を向いて、子供たちを中心に、よりよい学校と地域との関係づくりを目指していくことが目標かと思っています。

ここまでの間、関係者が保護者、地域の方々、現在のコーディネーター、そして学校等、様々な方々との意見交換とか意見聴取を事務局において行ってきているところであります。4月からコミュニティ・スクールに移行していくということで準備をしている学校もありまして、これは各学校にダイレクトに影響していく基本方針かと思えます。今日いただいた御指摘も踏まえながら、次回、議案として、この方針を策定していくに向けてブラッシュアップしていきたいと思えます。

以上です。

ほかに御意見はございませんか。なければ、協議事項第3号を終了いたします。

報告事項第25号・令和6年第4回日野市議会定例会の報告について、事務局より報告をお願いします。

庶務課長。

○報告事項第25号 令和6年第4回日野市議会定例会の報告

[釜堀庶務課長]

庶務課長でございます。議案書13ページを御覧ください。報告事項第25号・令和6年第4回日野市議会定例会の報告をさせていただきます。

次ページを御覧ください。一番上、1、会期は11月29日金曜日から12月17日火曜日の19日間で行われました。

その下、2、一般質問です。質問者22名、うち教育委員会関係は15名、質問件数は43件、うち教育委員会関係は15件で行われました。

その下、3、議案です。市長提出議案は34件、うち教育委員会に関するものは3件、また、議員提出議案は1件、うち教育委員会に関するものはございませんでした。

議案の内容について、それぞれ御説明いたします。

(1) 令和6年度日野市一般会計補正予算(第8号)でございます。可決されております。補正総額は、歳入歳出とも11億9,190万7,000円、うち教育費は2億2,103万1,000円でございます。予算総額は、歳入歳出とも786億9,858万4,000円、うち教育費が93億2,050万3,000円でございます。

(2) 防犯カメラの買入れについては可決されております。

(3) 令和6年度日野市一般会計補正予算(第9号)でございます。可決されております。補正総額は、歳入歳出とも9億4,336万円、うち教育費は5,005万4,000円でございます。予算総額は、歳入歳出とも796億4,194万4,000円、うち教育費が93億7,055万7,000円でございます。

その下、4、請願については4件、うち教育委員会に関するものはございませんでした。報告は以上でございます。

[堀川教育長]

事務局からの報告が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。なければ、報告事項第25号を終了いたします。

報告事項第26号・行政情報の公開請求について、事務局より報告をお願いします。

庶務課長。

○報告事項第26号 行政情報の公開請求

[釜堀庶務課長]

議案書15ページを御覧ください。報告事項第26号・行政情報の公開請求について報告をさせていただきます。

次ページをお開き願います。請求日、決定日、請求件名、決定内容は記載のとおりでございます。

報告は以上でございます。

[堀川教育長]

事務局からの報告が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。
なければ、報告事項第26号を終了いたします。

請願第6-11号・横山洋吉元都教育長や北村比左嘉被告（元校長）が、学校生活（いわゆる儀式的行事を含む）において「怖いと感じた」と生徒に証言させてしまった、非違行為の具体的内容を本市の教職員に周知頂きたい等の請願～生徒の人権を守るためにもについて、事務局より説明をお願いします。

庶務課長。

○請願第6-11号 横山洋吉元都教育長や北村比左嘉被告（元校長）が、学校生活（いわゆる儀式的行事を含む）において「怖いと感じた」と生徒に証言させてしまった、非違行為の具体的内容を本市の教職員に周知頂きたい等の請願～生徒の人権を守るためにも

[釜堀庶務課長]

議案書9ページを御覧ください。請願番号、請願第6-11号、受付年月日、令和6年12月10日、件名、横山洋吉元都教育長や北村比左嘉被告（元校長）が、学校生活（いわゆる儀式的行事を含む）において「怖いと感じた」と生徒に証言させてしまった、非違行為の具体的内容を本市の教職員に周知頂きたい等の請願～生徒の人権を守るためにもでございます。

請願者の住所氏名は記載のとおりでございます。

次ページ、10ページから11ページまでが請願の要旨でございます。

説明は以上でございます。

[堀川教育長]

請願者より申出がありましたので、請願の事情を述べていただきますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

事務局は請願者を席に案内してください。

それでは、請願者は5分程度で請願の事情を述べてください。

[請願者]

今日の請願のキーワードは、学校教育において児童生徒に恐怖を感じさせてはいけないということです。横山洋吉氏は、「君が代」、起立強制の通達を出して、その後、中村正彦氏という人に至っては、児童生徒に起立して歌わせる、児童生徒にも強制する答弁を都議会でしているということでございます。横山氏の強制に対して、水道橋にあります都立工芸高校、ここを2004年3月に卒業した当時の生徒が、東京高裁での証人尋問で「怖いと感じた」と、そのときの卒業式の様子が、はっきりと「学校教育によって恐怖感を感じた」と言っております。

2つ目の事案の北村比左嘉被告人については、わいせつということで、とんでもない非違行為でございます。これらの内容を教職員にしっかりと周知していくということで防止できる、そして「思想・信条の自由」も保持できると思うわけです。その機会としては、

校長会とか、あるいは中堅教諭等資質向上研修、初任研などでぜひ言っていただきたいし、道徳教育でもこういうことは取り上げるべきだと。

具体的に請願事項の2-1でございます。横山氏は、死去した直後に叙位正五位に叙されたということでございます。これは私どもとしてはとんでもない、こういうような人は叙位、叙勲はすべきではないということでございます。

2-2のところ、横山氏は具体的に「君が代」についてどういうことを言っているか。2003年4月10日の都教委の定例会で、当時、右翼の教育委員ばかりでしたから、横山氏は「国旗国歌については強制しないという政府答弁から始まっている混乱なのです」と述べて、政府答弁にすら反発をしているということです。完全にこれは公務員として、憲法99条の憲法尊重擁護義務に違反している。政府答弁というのは、「思想・信条の自由」との調整で憲法19条のぎりぎり出てきた答弁ですから。

2-3のところ、横山氏の発言を受けて、鳥海巖という教育委員、この人が「君が代」の不起立の先生をがん細胞に譬(たと)えて、「がん細胞を徹底的に撲滅する」というふうに、これは差別発言でございます。こういう発言については教育長は注意する義務があると思うんですが、そういうこともしていないのが横山氏だと。

2-4のところ、そこにしっかりと高裁、立ち話でこの元生徒さんはしゃべったんじゃないんですよ。東京高裁の宗宮(そうみや)英俊裁判長の2008年12月17日の正式な証人尋問の中で、「うそはつきません」という宣誓をした上で、「当時の教員が非常に圧力ある感じで『起立する』ようしゃべっていた。怖い、おかしい」と。やっぱり「君が代」の強制はおかしいんですよ。そういうことをはっきりと証言なさったわけですから。しかも、「緊張した暗い式であった」こんな式じゃ駄目です。やっぱり「君が代」なしにして、国旗は三脚掲揚だけにしてやるというのが私は一番いい式ではないかと思っております。それから、子供の権利条約にももちろん違反しています。

2-5のところは、城北養護学校というところ、ここでの元教員が東京都の人事委員会審理でしゃべったことですから、これも立ち話でしゃべったわけじゃないんです。「君が代」のときに人工呼吸器のアラーム音が鳴ったので、看護師である職員が腰をかがめて介抱していたら、副校長が飛んできて、「起立しなさい」と命じた。まさに副校長は殺人未遂ではないかと私は思います。人権侵害と同時に、人命軽視も甚だしい東京都教育委員会の通達であると。

2-6のところは、横山氏は憲法の「表現の自由」の規定も知りません。

2-7のところ、「思想・信条の自由」の上で非常に「君が代」が嫌だという40代の数学の教師が2回処分を受けて、恐怖感から早期退職して、私立高校の講師に転職しています。

こういうふうにやっぱり都教委の10・23通達というのは明らかにロシアのプーチンみたいなものであると。横山氏は12年11月3日の叙勲で瑞宝中綬章も受賞していますが、まさに天皇に忠実である、国家権力に忠実であれば、こういう受賞をするというのはおかしいと思います。

横山氏が出した通達で482人の教員が処分されていますけども、このうち、頑張っ最高裁で減給……。

[堀川教育長]

請願者に申し上げます。5分が経過しましたので、説明をまとめてください。

[請願者]

はい。減給停職処分77件、66人の懲戒処分取消しを勝ち取っていると。これぐらいおかしな行政はありません。北村被告についてはそのとおりです。学年主任なんかをやっ
て……。

[堀川教育長]

請願者に申し上げます。5分が経過しましたので、説明をまとめてください。

[請願者]

主任をやっていたような人だということ。

最後に、ぜひ今度の「二十歳のつどい」では、堀川さん、新成人にお尻を見せないで、
こっちのほうを向いて歌わないでいただきたいという強い要望をしておきます。立たない
でほしいと要望もしておきます。

以上で、ぜひ子供が主人公でお願いします。では、質問をお願いします。

[堀川教育長]

この件につきまして、御質問がございましたらお願いいたします。

なければ御意見を伺います。

高木委員。

[高木委員]

本請願は、私自身、不採択と考えます。その理由についてですが、本請願は、2、具体的請願事項として、2-1項から2-9項にわたり請願者グループで共有する考え方が述べられて
います。請願書などをよく読ませていただきました。また、ただいまありました請願者自身による説明を伺っても、請願事項について、日野市教育委員会として採択すべき具体的な背景や理由が理解できないこと、以上の観点で本請願は不採択と考えます。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

真野委員。

[真野委員]

御説明ありがとうございます。事前にいただきました請願内容もしっかり読ませて
いただきました。その上で、この請願内容は請願者の考えに基づく一方的な主義主張であって、
日野市教育委員会がこの請願を採択するに当たる正当な理由が読み取れませんでした。し
たがいまして、私は不採択と判断いたしました。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

正留委員。

[正留委員]

御説明ありがとうございます。本請願を読ませていただきました。請願の背景と請願

内容、お伝えいただきたい対象など及び、具体的請願事項 2-1 から 2-9 について読みましたが、本請願は請願者の考え方に基づく一方的な主張と論の展開であり、日野市教育委員会が請願を採択すべき理由となるものを捉えることができませんでした。

したがって、不採択と考えます。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

岩下委員。

[岩下委員]

請願を拝読いたしました。また、今ほど請願者自身による説明も伺いました。ありがとうございました。しかし、日野市教育委員会で取り上げるべき具体的理由を見いだせませんでしたので、不採択と考えます。

以上です。

[堀川教育長]

ほかに御意見はございませんか。

なければ、御質問、御意見はこれにて終結いたします。

委員の皆様の御意見としては不採択という御意見が多いようですので、横山洋吉元都教育長や北村比左嘉被告（元校長）が、学校生活（いわゆる儀式的行事を含む）において「怖いと感じた」と生徒に証言させてしまった、非違行為の具体的内容を本市の教職員に周知頂きたい等の請願～生徒の人権を守るためにも、これを不採択とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしとのことですので、請願第 6-11 号については不採択とすることに決しました。

これより議案第 42 号及び議案第 43 号の審議に入りますが、本件につきましては公開しない会議といたしますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

[堀川教育長]

異議なしと認めます。関係職員以外の事務局説明員と傍聴者の方は退席してください。

なお、本件の終了をもって、令和 6 年度第 10 回教育委員会定例会を閉会といたします。

（関係者以外退室）

閉会 14 時 42 分